

平成26年度 障がい者就労支援圏域ネットワーク事業報告書

圏域名	東濃圏域	委託先法人名	社会福祉法人 陶技学園
-----	------	--------	-------------

事業種別	目的	対象・参加者	実施内容	実施時期	実施場所	出席者	効果
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労支援推進のため関係機関等の情報・課題の共有を行う	東濃圏域障がい者総合支援推進会議 就労・雇用支援部会構成団体・機関	＜東濃圏域障がい者就業支援ネットワーク全体会議＞ ・平成25年度障がい者就労支援ネットワーク事業報告及び平成26年度の計画について ・障がい者就労支援の現状と課題について (どんぐり工房・クローバー工房・ハローワーク・特別支援学校)	6/25(水) 13:30～15:30	東濃西部総合庁舎 5F大会議室	■関係機関 54名 (37事業所)	就労移行支援事業所と就労継続支援A型事業所より、支援の取り組みや課題について発表を頂き、障がい者就労に関する情報の共有を図った。
就労・雇用支援部会 東濃圏域セミナー事業	障がい者雇用の促進を図り、現状や課題を知ると共に解決策について学ぶ	地元企業・関係機関	＜就労セミナー＞ 精神障がい者雇用への第一歩～わかる・雇う・いかす～ ・『精神障がい者の雇用促進について』 岐阜労働局 職業安定部 職業対策課 地方障害者雇用担当官 市岡 雄志 氏 ・『精神障がいの基礎知識 ～雇用にあたり知っておくべき事～』 医療法人 清仁会 のぞみの丘ホスピタル 地域支援部長 臼井 潤一郎 氏 ・『私の可能性～理解で広がる仕事のかたち～』 当事者の方より発表	10/30(木) 10:00～12:30	瑞浪市窯業技術研究所 3F大ホール瑞雲	■企業 58名 (47社) ■関係機関 24名 (17事業所)	講師3名を招き、精神障がい者雇用に関する制度、知識、当事者の経験について講演を頂いた。地元企業に障がい者雇用への理解と促進を図った。
就労・雇用支援部会 地区別開催事業	一般就労に向けた現況への理解を深めると共に、障がい者の意識の向上と働くための心構えに関して学ぶ 一般就労に向けた取り組み、指導方法についての助言を受け、支援に活かす	東濃特別支援学校 生徒・地元企業	＜多治見・土岐・瑞浪地区事業＞ ・東濃特別支援学校概要、学校見学 ・作業学習体験	11/21(金) 9:15～12:00	東濃特別支援学校 第3棟特別教室 作業室	■企業 10名 (7社) ■関係機関 9名 (4事業所)	多治見・土岐・瑞浪地区の企業に対し、学校での取り組みを知って頂き、作業体験では生徒と直接関わっていた。本事業を通して、障がい者雇用のイメージや理解を深め、今後の卒業生の実習受け入れや雇用を検討して頂く機会となった。
		恵那特別支援学校 生徒・地元企業	＜恵那・中津川地区事業＞ ・恵那特別支援学校概要、学校見学 ・作業学習体験	11/26(水) 9:40～12:00	恵那特別支援学校 校長室 作業室	■企業 13名 (10社) ■関係機関 7名 (4事業所)	恵那・中津川地区の企業に対し、学校での取り組みを知って頂き、作業体験では生徒と直接関わっていた。本事業を通して、障がい者雇用のイメージや理解を深め、今後の卒業生の実習受け入れや雇用を検討して頂く機会となった。

就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	障がい者の就労支援の推進を図るため、関係機関等の情報・課題の共有を行う	就労移行支援事業所・特別支援学校・ハローワーク	<東濃圏域障がい者就業支援ミニネットワーク会議> ・事業所内での学習や取り組みについて ・企業での就労から定着支援の取り組みについて ・今後の会議の在り方について	12/17 (水) 13:30～ 15:30	東濃西部総合庁舎 5F大会議室	■関係機関 19名 (12事業所)	東濃圏域の各就労移行支援事業所の支援状況や課題について情報共有し、連携や今後の会議の在り方を確認した。
就労・雇用支援部会 啓発事業	就労・雇用支援を効果的に推進するため、情報整理・集計化を図り、各関係機関や企業、地域住民へ情報提供を行う	地元企業・地域住民・関係機関	<パンフレット修正> 就業支援ネットワークのパンフレットの内容の修正・更新を行う	随時	東濃障がい者就業・生活支援センターにて更新	—	ホームページ経由での問い合わせや相談があった。地域の障がい者やその家族等への支援機関の周知につながった。今後も地域の支援機関の情報をまとめ、地域の方への提供や周知を図っていく。
			<ホームページ更新> 東濃障がい者就業支援ネットワークのホームページ更新を行うと共に情報の収集・発信を行う				